

みしま

美しい村の、
美しい暮らしをつくるのは、

わたしたち一人一人の、
小さな一歩の積み重ねです。

お帰りなさい。

奥会津

三島町



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

「日本で最も美しい村」連合

平成 24 年 10 月加盟

国道 252 号沿いの松原、川井、早戸の 3 力所に、「日本で最も美しい村」連合のロゴマークを掲げた看板を設置しました。



三島町西方・大林ふるさとの山

カタクリ・さくらまつり

4月26日(土) - 5月6日(祝)

開花は雪解けの時期や天候に左右されますので、開花情報をお問い合わせの上お出掛けください。

三島町観光協会 ☎ 0241 (48) 5000
http://www.mishima-kankou.net/

主催：三島町・西方地区・西方共有財産管理会
共催：西方カタクリの会・三島町観光協会

「大林ふるさとの山」 三島町西方

オオヤマザクラの林が広がり、その山肌にはカタクリが雪解けを待って一斉に花を咲かせます。その群生は年々広がり、山一つが紫色に包まれます。斜面の遊歩道を歩いて楽しむことができます。

4月 目次

- 2 横田トメさん満百歳
- 3 **カタクリ・さくらまつり**
- 4 平成26年度
町の予算
- 6 **地区支援事業補助金**
- 7 消費税の増税による
各種料金の改定について
- 8 TownNews7 みしまの出来事
三島中卒業式／三島小卒業式／三島保育所満了式／役場に非常用発電機を整備／病院に響くフルートの音色／雪山の大自然を巡る／のんびり列車で東京浅草へ
- 10 **町民記者通信**
西方に春を呼ぶ団子まき／みんなでストレッチ、滝谷和楽塾／宮昌寺の涅槃会／宮下大字総会／伝統守り、ひな流し
- 12 **県立宮下病院の診療体制について**
- 13 区長名簿／地区担当職員名簿／町営バスの運行時刻・料金の改定について／保健・子育て・健康づくり予定
- 14 **民話 第37話 猿婿入 広報紙面クイズ**
こんにちは。協力隊です。Vol.6
- 16 会津坂下警察署から／自動車事故被害者救済制度／ご寄附／町の人口と世帯
- 17 町の人事
黄色い帽子で事故防止
- 18 **作品には、人が表れる。**
三島町生活工芸品展
全国編み組工芸品展
- 20 **小堀貞 水墨画展**
編集後記



百歳賀寿のお祝いを受けた横田トメさん

横田トメさん 満百歳の笑顔

横田トメさん(高清水)は3月6日、満百歳となりました。百回目の誕生日を高清水の自宅へ迎え、家族とともに長寿を喜び合いました。同日、県と町からの賀寿のお祝いがトメさんに贈られました。二瓶町長と、県会津保健福祉事務所の飯野日佐子健康福祉部長が、それぞれ賀状と記念品を手渡すと、トメさんは自分でしっかりと受け取りました。また町社会福祉協議会からの花束と、高清水・小長老

人クラブからの祝金が贈られました。トメさんは大正3年3月6日生まれ。同じく満百歳の大竹ミツさん(滝谷)とともに町内最高齢です。長寿の秘訣は、好き嫌いを気にせず何でも食べる。歩くことも話すことも、百歳という年齢を感じさせません。子が5人、孫が6人、ひ孫が6人、玄孫が2人。たくさん家族の真ん中で、夢の百歳に到達しました。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,855人 (3月1日現在)



町の予算



Pickup1 住宅
町の総合的な住宅施策を明確にし、住まいの選択肢の充実を図り、定住増加を目指します。今年度は三島保育所隣りに町営住宅を建設します。木造2階建て、延べ床面積120㎡程度の戸建住宅4棟の予定で、子育て世帯の定住を促進していきます。
☎ 産業建設課 建設係 (48) 5566



Pickup2 雇用
当町では平成20年度から県緊急雇用創出事業を実施し、町内の雇用を確保してきました。今年度も引き続き実施し、8件22人の雇用を予定しています。しかし非正規雇用が多いため、正規雇用につながる企業の事業展開が課題となっています。
☎ 地域政策課 (48) 5533



Pickup3 観光
観光交流館からころんを拠点として、観光案内や田舎体験ツアーの企画など、町の魅力を発信していきます。JRの大型観光キャンペーンとも連携しながら、インターネットを利用した情報発信や、近隣の誘客を目指した観光PRなどを実施していきます。
☎ 地域政策課 (48) 5533



Pickup4 農業
水稲の作付が大幅に減少し、遊休農地がますます増えることが心配されます。農業従事者の協力により、町全体を包括する農業法人の設立を目指します。また振興作物として、そばの生産を推進し、遊休農地解消や加工・販売体制の整備を目指します。
☎ 産業建設課 産業係 (48) 5566



Pickup5 健康
病気、入院、障害などを予防できるよう、健診結果の内容、対処法を伝えていく個別指導を強化しながら、医療費が安くなるよう国保の運営に努めます。また認知症予防についても取り組む暮らせる町を目指します。
☎ 町民課 福祉係 (48) 5565



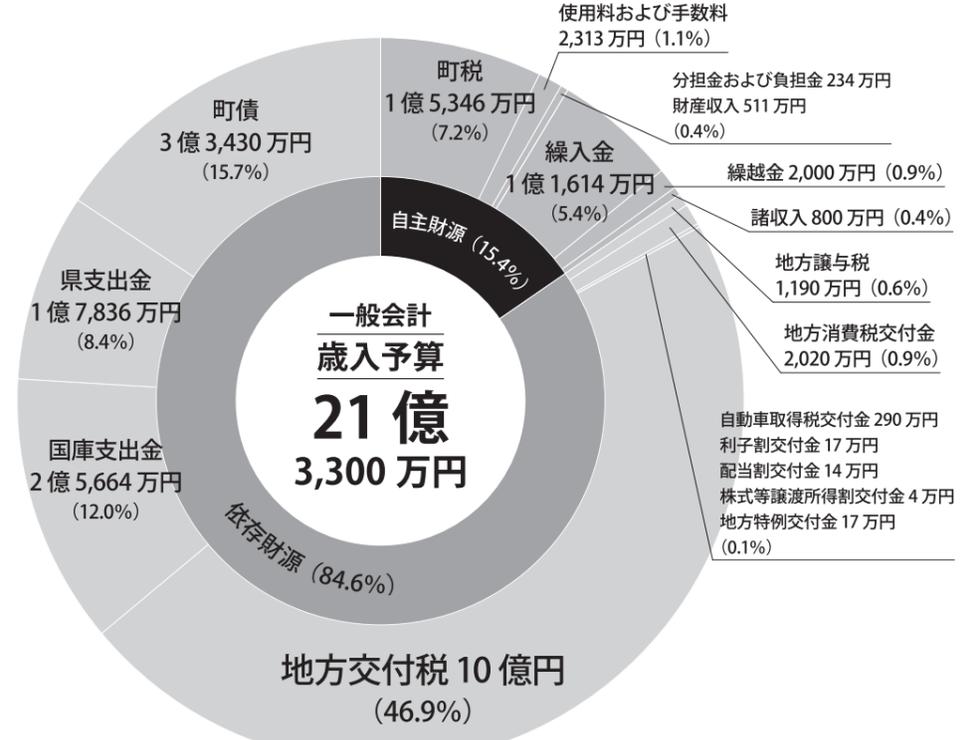
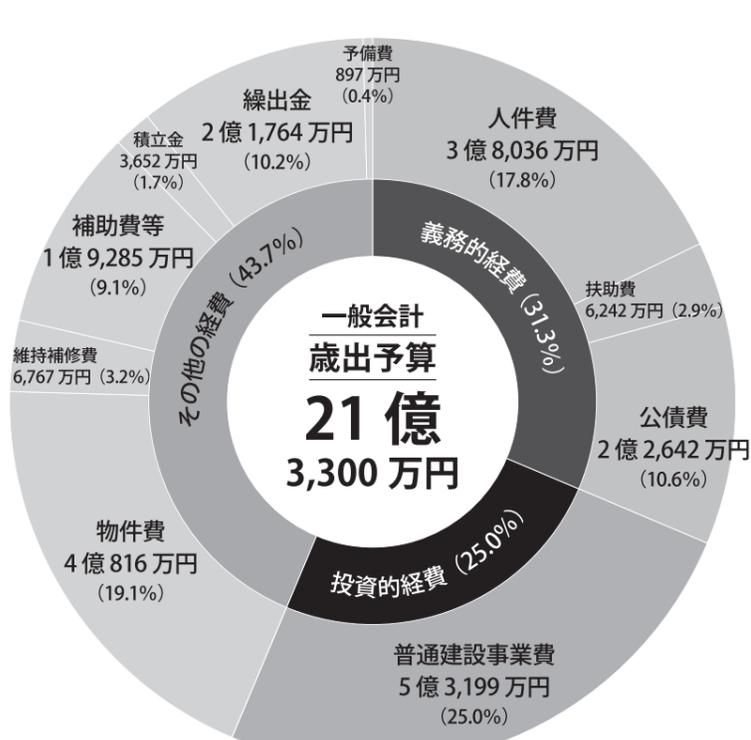
Pickup6 福祉
一人暮らし、二人暮らし高齢者、老々介護などの世帯に対し、福祉サービスの充実を図り、地域と連携した支援ができる仕組みづくりを目指します。要介護高齢者などを対象とした高齢者集合住宅をひだまり隣りに建設し、年度内の入居開始を予定しています。
☎ 町民課 福祉係 (48) 5565



Pickup7 スポーツ
地域の誰もがスポーツに親しむことができるように、総合型地域スポーツクラブの設立を目指します。その土台として、トレーニングルーム開設のほか、野球、ソフトボール、バレーボール、ふくしま駅伝、スポ少などを支援していきます。
☎ 生涯学習課 (48) 5599

主な投資的事業の予算額

地区集会所耐震診断 (2地区)	80万円
デマンドバス購入 (2台)	950万円
高齢者集合住宅建設工事 (繰越)	1億円
高齢者集合住宅外構・地盤改良工事	1,880万円
町営住宅建設工事実施設計 (繰越)	600万円
町営住宅建設工事	1億4,834万円
農機具購入 (コンバインほか)	540万円
木材加工施設キューピクル改修	507万円
林道大山美坂高原線災害復旧工事 (繰越)	1,100万円
林道舗装 (倉掛沢線、大窪矢柄線)	300万円
軽ダンプ購入 (美坂高原用)	165万円
町道舗装点検	420万円
三島大橋修繕工事	1億4,067万円
建堀東橋線消雪工事	9,106万円
名入大石田線法面保護工事	5,149万円
名入線側溝改修工事	792万円
大谷鳥海堰改良工事	1,067万円
消火栓設置工事 (大石田、宮下)	700万円
小型ポンプ積載車購入 (大登班)	600万円
運動器具購入 (ルームランナーほか)	118万円



町の一般会計と7つの特別会計の予算が、町議会3月定例会で議決され、平成26年度の行政がスタートしました。今年度は、町営住宅や高齢者集合住宅の建設など、大きな投資的事業に着手します。

平成26年度 会計別予算額

会計種別	予算額	前年度からの増減
一般会計	21億3,300万円	+2億8,600万円
国民健康保険	2億6,720万円	+1,486万円
簡易水道	9,875万円	-640万円
路線バス	2,627万円	+462万円
農業集落排水	2,228万円	+91万円
介護保険	4億4,919万円	+1,974万円
戸別合併処理浄化槽	4,501万円	+667万円
後期高齢者医療	2,942万円	+40万円
合計	30億7,112万円	+3億2,680万円

用語の説明

- **一般会計と特別会計**
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- **町税**
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- **町債**
町の借入金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- **地方交付税**
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- **国庫支出金・県支出金**
町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。
- **人件費**
報酬や給与などです。
- **物件費**
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的経費です。
- **維持補修費**
道路や公共施設などを管理するための経費です。
- **扶助費**
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。
- **補助費等**
町からの団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- **普通建設事業費**
道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。
- **公債費**
町の借金を償還する(返す)ための経費です。
- **積立金**
財政運営のために積み立てるお金です。
- **繰出金**
一般会計から特別会計に出しているお金です。

自ら考え実行する美しい地区づくりを支援します。

地区支援事業補助金

町は、地域の特性を活かした魅力ある地区づくりを推進するため、1件50万円を上限として、予算の範囲内で補助金を交付します。

◎一次募集期限 4月25日(金)

※申請状況によって二次募集を行います。

◎申請方法

事前に役場地域政策課に相談の上、同課で配布する申請用紙、その他必要書類を提出してください。



田舎暮らし体験で交流 間方地区

間方地区は、地区支援事業補助金と県地域づくり総合支援事業(サポート事業)補助金を活用し、志津倉山のトレッキングコースを整備しました。同時に町観光協会と協力し、田舎暮らし体験ツアーを企画して参加者を募集。トレッキングのほか、そば打ちや、かんじき作り、雪山ウォーキングなどを通じて、山村の文化や自然を体験してもらいながら、来訪者とともに楽しむ地区づくりを進めています。

◎補助対象事業
町内の地区(行政区)または地域づくり団体等が行う事業で、次の要件を満たすものとします。

①地区の魅力拡大や課題解決、住民福祉の向上、交流活動の促進など、地区づくりを目的とする事業であること。

②一時的なものではなく、継続的な取り組みにつながる内容であること。

③事業主体が地区以外の地域づくり団体の場合は、事業の実施場所となる地区との連絡調整が図られていること。

◎補助対象経費

地区づくりを目的とする事業に要する次の経費とします。

①専門家等謝礼・旅費②設計・製作等委託料③工事請負費④備品購入費⑤印刷製本費⑥通信運搬費⑦臨時的な使用料および賃借料⑧その他、町長が必要と認め

る経費
※国・県等の補助採択を受け、その自己資金分に当補助金を充当することも原則として認めます。

◎補助対象外の経費

次のような経費は補助の対象外ですので、申請の際はご注意ください。

①人件費、光熱水費、家賃、借地料等②食糧費③視察研修等旅費④単なる維持修繕に係る経費⑤商品等の仕入れに係る経費⑥販売を予定する印刷物の印刷製本費⑦容易に転用が想定される施設や備品等に係る経費⑧その他、町長が必要と認めない経費

◎補助額

補助対象経費の10分の10以内の額(千円未満切り捨て)。ただし補助対象経費が委託料・工事請負費・備品購入費に限られる場合、補助額は5分の4以内の額とします。(国・県等の補助採択を受け、その自

己資金分に当補助金を充当する場合は、この限りではありません)

補助額の上限 50万円

※ただし予算の範囲内において補助金交付額を決定します。

◎補助採択および補助金交付額の決定

補助採択に当たっては、各課等の長で構成する審査委員会による審査を行います。審査では、要綱に定める補助の対象に適合するかどうかを判断し、採否を決定します。また申請の合計額が予算額を超えている場合には、予算額の範囲内において補助金交付額を決定します。

※補助金の申請方法など詳しくはお問い合わせください。また地区づくり全般についても、お気軽にご相談ください。

☎(48) 5533
役場 地域政策課

消費税の増税による町の各種料金の改定について

消費税が5%から8%に増税されたことにより、町の各種料金を改定しました。町民の皆さまのご理解をお願いいたします。

8% 消費税

◎水道料金 ※平成26年5月検針分から改定します。

	改定前	改定後
簡易水道	基本料金(10㎡まで) 1,900円(税込)	基本料金(10㎡まで) 1,810円(税抜)
	超過料金(1㎡当たり) 190円(税込)	超過料金(1㎡当たり) 190円(税抜)
戸別合併処理浄化槽	基本料金(10㎡まで) 1,150円(税込)	基本料金(10㎡まで) 1,100円(税抜)
	超過料金(1㎡当たり) 250円(税込)	超過料金(1㎡当たり) 240円(税抜)
農業集落排水	基本料金(10㎡まで) 2,300円(税込)	基本料金(10㎡まで) 2,190円(税抜)
	超過料金(1㎡当たり) 250円(税込)	超過料金(1㎡当たり) 240円(税抜)

⑨すべて税抜料金に改定しましたので、例えば簡易水道を15㎡使用した場合の料金は次のようになります。

▶基本料金(10㎡まで) 1,810円
▶超過料金 5㎡×190円=950円
(1,810円+950円)×1.08=2,980円

※1円未満は切り捨て
この場合、改定前の料金2,850円から130円の増となります。

◎施設料金 ※平成26年4月1日から改定しました。

施設名	入浴料金		宿泊料金
	町民	町民以外	
宮下温泉庄	※10円増 ▶大人260円 ▶子ども160円	※10円増 ▶大人430円 ▶子ども220円	▶ほっとプラン1泊2食(1室2名様以上)8,600円+入湯税150円▶ビジネスプラン1泊2食(1室2名様以上)7,600円+入湯税150円 ※1室1名の場合は+500円
早戸温泉つるの湯	※変更なし ▶大人400円 ▶小学生200円 ▶65歳以上300円	※変更なし ▶大人500円 ▶小学生300円	※変更なし 自炊宿1泊3,825円~ (12月~3月は燃料費加算)
桐の里倶楽部	※変更なし ▶大人250円 ▶子ども150円	※変更なし ▶大人420円 ▶子ども210円	
ひだまり	※変更なし ▶大人300円 ▶子ども150円 ▶65歳以上100円	※変更なし ▶大人500円 ▶子ども250円	
森の校舎カタクリ			※税込料金を外税とする。 ▶1泊2食=大人5,400円、高校・大学・専門学校生4,900円、小中学生4,300円▶素泊まり=大人3,300円、高校・大学・専門学校生2,800円、小中学生2,200円

大きく成長した6年間 三島小卒業式 11人が中学へ

三島小卒業式は3月20日に行われ、11人が卒業しました。佐藤則之校長は一人一人に卒業証書を手渡し、「みんなのために何が出来るか考え、一步前に出て実行してほしい」と式辞を述べました。矢澤源成教育長が告辞を述べ、二瓶隆司町長、小柴修一町議、真田和明PTA会長が祝辞を述べました。また1年生から5年生までの在校生45人がそれぞれ進級しました。



中学校の制服を着て式に臨んだ11人の卒業生



県立宮下病院ロビーでフルートを演奏した岩沢麻実さん

病院に響くフルートの音色 県立宮下病院でひなまつりコンサート

県立宮下病院で3月7日、ひなまつりコンサートが行われ、フルート奏者の岩沢麻実さん(会津若松市)が演奏しました。岩沢さんは定期的に演奏に訪れており、来院する方々に心なごむフルートの音色を届けています。「花」「春の小川」「春よ来い」など春にちなんだ曲のほか、人気歌手ゆずの「栄光の架橋」や、コブクロの「今、咲き誇る花たちよ」などのオリンピックソングも、フルート演奏で披露しました。

雪山の大自然を巡る 間方地区で田舎暮らし体験ツアー

町観光協会の田舎暮らし体験ツアーは3月1日・2日、間方地区で行われました。今回はかんじき作りやそば打ち体験、雪山ウォーキングを実施。かんじきの紐の結び方などが難しかったようですが、間方地区の方々が丁寧に教えました。雪の深い志津倉山への林道に沿って歩き、雪上でのコーヒープレイク、林間コースなどを満喫しました。町観光協会が平成25年度に実施した全7回のツアーに延べ78人が参加しました。



かんじきを履いての雪山ウォーキング



浅草雷門を訪れたツアー参加者の皆さん

のんびり列車で東京浅草へ JR只見線利用促進ツアー

町観光協会のツアー「只見線&会津鉄道で行く東京スカイツリー&浅草」は3月8日・9日の1泊2日で行われ、町民9人が参加しました。会津田島駅から浅草まで乗り換えなしで行くことができ、駅弁を食べながらのんびりと列車の旅を楽しみました。天候にも恵まれ、東京スカイツリーからの展望、夜のイルミネーション、浅草寺の仲見世などを巡りました。町観光協会は平成25年度に只見線利用ツアーを5回実施しました。

家族、地域への感謝を胸に 三島中卒業式 11人が巣立つ



希望をふくらませ、三島中を卒業した11人/五十嵐梓(大谷)、五十嵐忠馬(大石田)、小林美幸(大登)、佐藤果怜(宮下)、鈴木大輔(宮下)、角田雄大(川井)、中丸拓(宮下)、二瓶北都(西方)、半澤綾乃(名入)、細堀華(宮下)、渡辺颯人(大石田)

三島中卒業式は3月13日に行われ、11人が門出を迎えました。学事報告では、男子バレーボール部の全会津優勝、県大会での活躍などが報告され、小規模校の努力の成果が示されました。大震災の直後に入学した生徒たちに、馬場勇校長は「落ち着かない状況の中で頑張ってくれた。今後も挑戦する心をもって進んでほしい」と話しました。続いて矢澤源成教育長が告辞を述べ、「人はそれぞれ違うということを理解し、視点を変えて考えることのできる人になってください」と話しました。二瓶隆司町長、小柴修一町議、舟木孝治PTA会長が祝辞を述べました。卒業生は一人一言、家族や地域の方々への感謝の言葉を述べました。「ほたるの光」「仰げば尊し」、卒業讃歌「友～旅立ちの時～」を歌い、新たなスタートを祝いました。

保育所生活を終え1年生に 三島保育所満了式 10人が小学校へ

三島保育所の満了式は3月27日に行われ、年長児10人が楽しかった保育所生活を終えました。五十嵐乃里枝所長から満了証書を受け取ると、後ろで待つお母さん、お父さんに「ありがとう」と言って満了証書を手渡しました。五十嵐所長は「げんき、やるき、ゆうきの三本の木を心に植えて育ててください」と話しました。児童たちは「思い出のアルバム」などを歌い、思い出がたくさん詰まった保育所とお別れしました。



大きく成長し、保育所を満了した10人の児童たち



役場庁舎地下に整備した非常用発電機

役場に非常用発電機を整備 停電時に防災拠点として維持

町は役場庁舎に非常用発電機を整備しました。災害などによる停電時に、防災拠点、避難所としての機能を維持します。発電機の出力は毎時72キロワット、燃料容量950ℓで連続41時間の運転が可能です。役場と町民センター全体の停電に対応します。このほか町は、避難所としての安全性を確保するため、地区集会所の耐震診断、改修などを年次計画により実施し、防災体制の強化を推進していきます。



宮昌寺の涅槃会 宮下地区

文・写真 町民記者 小島 純さん(宮下)



宮下・宮昌寺の上法事、春彼岸先祖供養、そして涅槃会の行事が3月15日に行われました。西方・西隆寺の遠藤弘佳住職が読経した後、赤や黄色の団子をまき、地区の方々が拾い集めました。涅槃絵はお釈迦様が亡くなられた日とされる旧暦2月15日の行事で、お釈迦様が火葬されたとき五色に輝き、その遺灰を弟子たちが丸めてお守りにしたという伝説にちなみ、色付けされた団子がまかれる習わしです。

大字総会を開催 宮下地区

文・写真 町民記者 小島 純さん(宮下)

宮下地区の大字総会は3月16日、宮下活性化センターで行われました。平成25年度の事業報告、収支決算、平成26年度の事業計画、収支予算が承認されたほか、町の地区支援事業補助金を申請する予定の計画書も承認されました。続いて委員の選出が行われ、新委員に目黒政寿さん、新監事に栗城佐さん、そして新区長に近藤勇彦さんが選ばれ承認されました。



伝統守り、ひな流し 高清水地区

文・写真 町民記者 菅家敏一さん(高清水)



高清水地区で受け継がれる行事「ひな流し」は3月4日に行われました。桃の節句に女の子の健やかな成長を願い、各家庭で作られた紙びなを川に流す行事です。同地区の矢澤雅生くん(小4)が各家庭を回り、紙びなを木箱に集め、只見川のほとりから流しました。今年は雅生くんのほか、三島小の児童たちも参加し、川の流れに揺られていく紙びなに願いを込めて手を合わせました。

西方に春を呼ぶ団子まき 西方・西隆寺

文・写真 町民記者 坂内洋二さん(西方)

西方・西隆寺で3月21日、春彼岸供養会に合わせて「団子まき」が行われました。遠藤弘佳和尚が団子まきの由来を説明した後、本堂を埋め尽くした子どもからお年寄りまでが団子ひろいに興じました。昨年よりも5割ほど多い団子が用意され、一緒に鈴のお守りやチョコもまかれて、集まった方々の大満足の笑みが遅い春を呼んでいました。



団子まきに先立ち3月19日、地区のおばあちゃんを中心に50人ほどが集まって、托鉢した米粉に桐炭など5色の色粉を加えて練り上げ、見事な団子に丸めました。



みんなでストレッチ 滝谷和楽塾

文・写真 町民記者 若林幸代さん(滝谷)



滝谷和楽塾の平成25年度最後の講座は3月26日、滝谷集会所で開かれました。この日はストレッチを行った後、反省会と次年度の計画を話し合い、終了後はお弁当を頂きながら思い出話をして大いに笑い合いました。滝谷和楽塾では、社会見学や、頭と体の健康講座などさまざまな活動を実施し、楽しく有意義な一年間を過ごしてきました。6月の次回を心待ちにして散会しました。

一緒に広報紙をつくりませんか

● 町民記者募集 ●

町民記者は、現在9人の方に委嘱していますが、やってみたいという方をさらに公募します。気軽に楽しく、広報紙づくりに加わりませんか。

※必ず定期的なということではありません。可能な範囲でご協力をお願いするものです。

▶公募人数=数人程度▶任期=2年(ただし再任を妨げません)▶業務=「広報みしま」への寄稿(町内の各種活動・話題等で、広報する内容として認められるもの)▶方法=写真と記事の提供(手渡しでも電子メールでもお受けします)▶貸与=小型デジタルカメラ1機、腕章▶報償金=寄稿1件につき2千円【応募先】役場 地域政策課 ☎(48) 5533

町営バス運行時刻・料金の改定について

4月から「デマンドバス」の正式運行を開始しました。利用者の声を受け、時刻・料金を次のとおりとします。

◆デマンドバス運行時刻の改定(4月7日⑨から)

発着	改定前	改定後
宮下駅前着	11:00着	10:30着
	14:15着	13:30着
宮下駅前発	14:35発	14:40発

◆料金の改定(4月1日⑩から)

種類	大人	70歳以上	高校生以下	同一地区内
1カ月定期券	3,000円	2,000円	600円	—
1回片道乗車	500円	300円	300円	100円

※定期便、デマンドバスともに同じ町内一律料金です。
※定期券は世帯ごとから個人になり、補助券は廃止しました。

☎役場 総務課 ☎(48) 5511

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎(48) 5565



実施予定

●4カ月児健診

4月8日⑩ 11:15～ 坂下厚生総合病院
5月13日⑩ 11:15～ 坂下厚生総合病院

●乳幼児健診

5月15日⑩ 13:10～ 町民センター
※乳児、1歳6カ月児、2歳児の健診です。

●3歳児健診

4月16日⑩ 13:00～ 柳津町・銀山荘

●足腰げんき教室

▶室内運動編
5月7日⑩ 13:30～ 町民センター

●心の健康相談(※事前申し込み必要)

5月19日⑩ 13:30～ 福寿草
【申込先】町民課福祉係 ☎(48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成26年度健康づくり年間予定表から転記しています。

平成26年度 区長名簿

地区	区長氏名
宮下	近藤 勇彦
荒屋敷	佐藤 好一
桑原	小林 辰伊
中平	星 耕
大登	角田 陽市
川井	渡部 一郎
桧原	海老名 英機
滝谷	目黒 常廣
大谷	福田 耕士
浅岐	諏訪 時男
間方	菅家 藤一
西方	坂内 洋二
大石田	渡部 彦一
名入	山内 和夫
小山	鈴木 孝一
高清水	小柴 春雄
滝原	板橋 健也
早戸	五十嵐 信一

平成26年度 地区担当職員名簿

地区	担当職員
宮下・荒屋敷	目黒 政寿 真田 多恵子 栗城 拓郎
中平	舟木 孝治 佐久間 淳
桑原	二瓶 仁志 黒澤 寿樹
大登	五十嵐 義幸 宗形 和哉 川合 正裕
川井	森田 勝二 二瓶 聡子 角田 伊織
桧原	鈴木 庄蔵 山口 一也 阿部 孝寛
滝谷	星 保弘 大竹 重一郎 大竹 夏奈
大谷	小柴 謙 横倉 三代子 五十嵐 義展
浅岐	秦 一夫 青木 武彦
間方	菅家 直人 緑川 葉子 五十嵐 優
西方	小堀 庄太郎 本名 光子 諏訪 義徳
大石田	秦 和幸 大竹 真理子 川島 昇
名入	佐々木 健二 二瓶 大樹 佐藤 克吉
高清水・小山	小松 昭 小柴 成人 二瓶 まゆみ
滝原	板橋 淳也 佐久間 絹江
早戸	阿部 ふく 北館 亮

※地区担当職員は各地区の取り組みをサポートするために配置しています。なお日常の相談などについては、担当職員に限らず身近にいる職員にいつでもお話しください。

平成26年度 県立宮下病院の診療体制

診療科	開設曜日	医師名
内科	月～金曜日	院長 黒沢正喜 科長 愛澤正人 医長 小山大輔 医員 佐藤 悠
	第2・4木曜日	【会津医療センター】助手 長谷川浩司
	第4火曜日	【会津医療センター】助手 星野弘尊
循環器内科	第2木曜日	【会津医療センター】講師 宗像源之
整形外科	毎週水曜日 ※1	【会津医療センター】 准教授 岩淵真澄 助手 田口浩子 助手 利木成広
心身医療・もの忘れ外来 ※2	火曜日	【県立矢吹病院】科長 金澤壮一
	火曜日	【会津医療センター】講師 久村正樹
	水曜日	【会津医療センター】助教 西郷佳世
耳鼻咽喉科	隔週金曜日	【会津医療センター】准教授 角田保雄
皮膚科	隔週金曜日	【会津医療センター】准教授 鈴木重行

※1 第5水曜日は休診です。

※2 「心身医療・もの忘れ外来」は、火曜日または水曜日のどちらかで毎週開設しています。事前にお問い合わせください。

☎県立宮下病院事務部 ☎(52) 2321

地域の皆さまには、平日頃より当院をご利用いただき、多大なる御支援、御協力をいただいております。ことに、深く感謝申し上げます。平成26年4月1日付け人事異動では、柏木真人医師が転出、小山大輔医長、佐藤悠医師が転入となり、常勤医師が4人となりました。医師の確保に向けて、御尽力いただき、ありがとうございました。昨今、休診となり、今年度も外科医師が不在とな

りますこと、引き続き休診とさせていただきますが、会津医療センターより多くの御支援をいただき、充実した診療体制を整えることができました。上記の表をご覧ください。また、皆さまにご利用いただいております病院バスの運行経路を見直し、柳津町および昭和村の中心部まで運行し、管内町村の全てをカバーすることとなりました。本年度も、へき地医療拠点病院として、地域医療を守るべく努力してまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願いいたします。

◎常勤医師が4人に
◎会津医療センターから多くの応援

県立宮下病院の診療体制について



県立宮下病院
院長 黒沢正喜



元話 佐久間孝一さん(早戸) 再話 五十嵐七重さん(西方)

昔むかし、あった。八人娘持った爺さまだった

まった。田はでぎでよ

「はあは、猿んどごさ嫁

「爺さま、よすす猿の

「爺さま、約束だぞ。娘

泣く泣く、ぼっち娘くれ

「あれあれ、あの桜花、

「あは、あは、あは、あは、

「いよいよやとんでねえ、

「この枝いいがー」「い

「よし、そんなのわけ

「ええ、ええ、ええ、ええ、

「さるさわへ 流れる命は

「ええ、ええ、ええ、ええ、



美しい村連合ロゴマーク入りエコバッグ

Quiz

広報紙面クイズ

紙面を読み返して、○に当てはまる

- 【問題】 ①この春、三島中学校を卒業した生徒は、○人。 ②カタクリとオオヤマザクラの名所、大林ふるさとの山は、三島町○○にあります。 ③間方地区で行われた田舎暮らし体験ツアーでは、○○○○を履いて雪山ウォーキングを楽しみました。 ④防災拠点として、役場庁舎に非常用○○を整備しました。 ⑤町の地区支援事業補助金の上限額は、○万円。

5問正解者の方に、もれなく「美しい村連合ロゴマーク入りエコバッグ」を差し上げます。

応募方法

- ◆応募方法 役場窓口および観光交流館からんころんに置いてある回答紙に記入して応募箱に入れてください。または、ハガキか電子メール (seisaku@town.nishima.fukushima.jp) で、クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、「広報みしま」についてひと書きい

締切

先月号の答え

- ◆先月号の正解者 若林勇雄さん(滝谷)、長谷川信雄さん(会津若松市)、栗城八亥子さん(会津若松市)、菊池千鶴子さん(仙台市)

こんにちは。協力隊です。

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

Vol.6 人数が少ないことのデメリット

4月に入り、役場の人事異動がありました。私は今年度も引き続き地域政策課所属、地域おこし協力隊として活動していくこととなりました。今年度はもっと地域に溶け込めるように努力したいと思っております。よろしくお願いたします。

三島小11名、三島中11名、これが今年3月に卒業した生徒の数です。私が通った地元市内の学校では、小学校は約150人、中学校は約250人の同級生がいました。一概に「多いから良い」、「少ないから悪い」などと言つつもりは全くありませんが、人数が少ないことがデメリットになることは少なからずあると思います。例えば、私の通っていた中学校には30種類ほどの部活がありましたが、三島中学校には現在バレー部一つしかありません。私は中学校では野球部に所属していましたが、三島町ではそれを選ぶことができません。このように人数が少

ら、爺さまと婆さまどんなに喜ぶがわかんねえ」娘独り言ゆつた。したれば、「よし、そんなのわけねえ。俺おだつてくる」ちゅつて白おろすべどしたら、「いやいやとんでもねえ。白おろせば土臭くて餅食えなくなつちまあ」「んじや白背負つたまま登る」どつて、ぱーつと登つて枝つかめえで、「この枝いいがー」「いまちゅつとその先の枝ならどでもいいな。色もいから」娘言つた。猿は娘が言つた枝さ手かげで、先さ行つたが、白背負つてんべえ、ミリミリど枝が裂げで、川ん中さジャッポーン、落ちちまつた。して、流れでいぐどぎ、さるさわへ 流れる命は惜しまねど あどのお姫はなんとなるらん っでドンブドンブ流れつちまつた。ざつと昔、さかえもうした。



ご寄附
ありがとうございました
町社会福祉協議会へのご寄附
東北電力株式会社 様

宮下地区建設業協同組合が
町に寄附
宮下地区建設業協同組合は、2月8日に開催された第42回雪と火のまつりの出店売上金を町に寄附しました。代表理事を務める佐久間建設工業(株)の佐久間源一郎代表取締役と、滝谷建設工業(株)の目黒通浩代表取締役が3月7日、役場を訪れ、二瓶町長に目録を手渡しました。



二瓶町長に目録を手渡す佐久間建設工業(株)の佐久間源一郎代表取締役(中央)と、滝谷建設工業(株)の目黒通浩代表取締役(右)

自動車事故
被害者救済制度

1. 交通遺児等育成資金の貸付
 - ▶対象者 自動車事故が原因で死亡または重度の後遺障害が残った方の子で、中学校卒業までの方
 - ▶貸付金額 一時金 155,000円 毎月 20,000円
 - ▶利子 なし
 - ▶貸付条件 市町村民税が非課税または均等割のみ課税など
 2. 重度後遺障害者への介護料支給
 - ▶対象者 自動車事故により、脳、脊髄、または胸腹部臓器に重度の後遺障害を持ち、自賠責保険の後遺障害等級が次に該当する方
 - I種(常時要介護) = 1級1号または2号(平成14年3月31日以前の事故は1級3号または4号)
 - II種(随時要介護) = 2級1号または2号(平成14年3月31日以前の事故は2級3号または4号)
 - ▶支給額
 - 特I種(最重度) 68,440円～136,880円
 - I種(常時要介護) 58,570円～108,000円
 - II種(随時要介護) 29,290円～54,000円
- ◎独立行政法人自動車事故対策機構 福島支所 ☎024(522)6626

町の人口と世帯
3月1日現在

人口	1,855	-9	出生	0
男	890	-7	死亡	6
女	965	-2	転入	2
世帯	827	-3	転出	5

◎住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(2月)
1件

野焼きは犯罪です

◆「野焼き」とは、どんなことをいうの?
「野焼き」とは、廃棄物処理法で禁止されている行為で、廃棄物を屋外で焼却することです。(山野を肥やすための「火入れ」や「土手焼き」のことではありません)

◆何を燃やしてはいけないの?
日常生活や業務上で出たゴミといえるものは、焼却が禁止されています。

◆「野焼き」は、なぜしてはいけないの?
生活環境の保全、公衆衛生の向上のために、野焼きは禁止されています。

◆どのような罰則があるの?
「5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金」です。法人が違反した場合は「3億円以下の罰金」という非常に重い罰となります。

ドラム缶で燃やすことも
犯罪です

街頭犯罪発生件数(1月～2月)

区分	管内	三島町
強盗		
空き巣ねらい	2	1
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	2	1
全刑法犯	12	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

町の人事
3名退職、4名採用

◎3月31日付退職

▼渡部繁信(総括参事・総務課長)▼角田陽市(参事・議会事務局)▼諏訪典子(町民課町民係長)

◆組織変更について

①町民課を1係から2係(町民係、福祉係)に変更します。
②産業建設課を1係から2係(産業係、建設係)に変更します。
③地域政策課地域政策係の2班(六次化推進班、美しい村づくり班)を廃止します。
④交流センター所管を地域政策課から生涯学習課に変更します。

◎4月1日付異動

※氏名の後のかっこ書きは旧役職、旧所属課です。

【課長相当職】

▼参事・議会事務局局長 目黒政寿(参事・生涯学習課長)▼参事・総務課長・会計管理者 秦和幸(参事・産業建設課長)▼参事・生涯学習課長 森田勝(参事・会計管理者)▼参事・産業建設課長 鈴木庄蔵(参事・

奥会津振興センター事務局長)

▼参事・奥会津振興センター事務局局長 小柴謙(地域政策課地域政策係長・只見川電源流域振興協議会事務局・奥会津五町村活性化協議会事務局)

【係長相当職】

▼生涯学習課生涯学習係長・交流センター所長 板橋淳也(生涯学習課生涯学習係長)▼地域政策課地域政策係長 小松昭(総務課総務係長)▼町民課町民係長 菅家直人(産業建設課産業建設係長)▼地域政策課生活工芸館長・交流センター所長 阿部ふく(町民課福祉係)▼農業委員会事務局・産業建設課産業係長 秦一夫(産業建設課産業建設係)▼総務課総務係長 二瓶仁志(総務課総務係)▼産業建設課建設係長 五十嵐義幸(地域政策課地域政策係)▼出納係長 舟木孝治(農業委員会事務局・産業建設課産業建設係)

【一般職】

▼町民課町民係 二瓶大樹

◎組織変更分

▼町民課福祉係(保健師) 本名光子▼町民課福祉係(保健師) 横倉三代子▼生涯学習課交流センター 二瓶聡子▼地域政策課地域政策係 北館亮▼町民課福祉係 五十嵐義展▼産業建設課建設係 諏訪義徳▼地域政策課地域政策係 青木武彦▼産業建設課産業係 小柴成人▼産業建設課産業係 五十嵐優

◎4月1日付採用

▼生涯学習課生涯学習係 川合正裕(大阪府出身)▼総務課総務係 川島昇(大石田)▼町民課福祉係 阿部孝寛(松原)▼保育所(保育士) 佐藤克吉(喜多方市出身)

黄色い帽子で事故防止

明るい社会づくり運動両沼地区協議会は、三島小に入学する児童のために、黄色い帽子を町に贈呈しました。同協議会の酒井ハナヨさん(宮下)が3月17日、役場を訪れ、二瓶町長に手渡しました。この黄色い帽子は、入学式において新1年生10人に贈られます。同協議会は昭和46年以来毎年、公立小学校の新入学児童に黄色い帽子を贈呈しています。今年度は両沼地区管内の小学校19校、幼稚園2園、保育所1所の約550人に贈りました。



二瓶町長に黄色い帽子を手渡す明るい社会づくり運動両沼地区協議会の酒井ハナヨさん

町生活工芸品展・大賞
ヒロロ・モワダ手提げバッグ
千葉アキ子さん（滝原）



作品には、

人が表れる。

第33回三島町生活工芸品展は3月15日・16日に開催されました。町民86人、603点の作品の中から、千葉アキ子さん（滝原）のヒロロ・モワダ手提げバッグが大賞に選ばれました。

また同時に第13回全国編み組工芸品展が開催され、14府県76人から寄せられた660点の作品の中から、齋藤美智子さん（福島市）のヒロロ・モワダショルダーバッグが最高賞の経済産業大臣賞に選ばれました。原発事故のため飯館村から福島市に避難して生活している齋藤さんは、昨年からは当町に通ってヒロロ細工を習い、才能を開花させました。「山が好きで奥会津を訪れ、三島の編み組を知りました。工芸館では漬物やスイーツを頂きながら心温まる交流ができ、とても居心地がよく、続けることができました」と喜びを語りました。

呼んでいる』と感じるものです。作り手の人柄が作品に表れるのだと思います」と受賞者をたたえました。

◆三島町生活工芸品展
受賞者（敬称略）
▼大賞 千葉アキ子（滝原）
ヒロロ・モワダ手提げバッグ
▼伝統技術者証 二瓶アキノ（大谷） スカリ風手提げバッグ、長郷タツエ（間方） ヒロロスカリ、若林清一（浅岐） 四つ目平ざる ▼優秀賞 目黒政榮（滝谷） 四つ目楕円ざる、板橋久枝（宮下） 山ブドウ皮ショルダーバッグ、馬場修子（松原） こたつ上掛け（刺し子）
▼奨励賞 角田清義（浅岐） 菓子ざる、秦サチコ（大石田） モワダ手提げバッグ、鈴木みゑ子（松原） 山ブドウ皮手提げバッグ ▼日本赤十字社県支部長賞 小松順吉（西方） マタタビ手提げかご ▼県老人クラブ連合会長賞 菅家アイ子（間方） 山ブドウ外皮抱えバッグ ▼町文化協会会長賞 小堀千加子（西方） 山ブドウ皮手提げかご ▼町商工会会長賞 秦

育雄（大石田） 山ブドウ皮手提げかご ▼町観光協会会長賞 久保田節子（間方） ヒロロ・アカソショルダーバッグ ▼町社会福祉協議会長賞 渡部佐治郎（西方） 山ブドウ皮手提げかご ▼町老人クラブ連合会長賞 目黒良介（滝谷） そばざる ▼福島民報社賞 菅家ハルイ（間方） ガマスリツパ ▼福島民友新聞社賞 角田直枝（浅岐） ヒロロ・モワダ手提げバッグ ▼旬マルシェみしま賞 二瓶次子（西方） 裂き織りバッグ ▼町生活工芸運動友の会会長賞 海老名智深（松原） 山ブドウ皮ショルダーバッグ、二瓶とよ子（桑原） ヒロロ・モワダショルダーバッグ、長谷川文枝（宮下） 山ブドウ皮長財

布 ▼宮崎清賞 西郷ハル子（間方） ガマぞうり、五十嵐喜良（名人） 山ブドウ皮手提げかご、小柴芳夫（西方） 山ブドウ皮長財布、角田進（川井） ほうき、五十嵐タメ子（浅岐） ヒロロ・モワダ手提げバッグ、五十嵐富一（大谷） ガマ手提げかご

ヒロロ・アカソショルダーバッグ ▼福島民友新聞社賞 五十嵐道夫（昭和村） 山ブドウ皮手提げバッグ ▼NHK福島放送局賞 小山田耕治（鹿児島県） おにぎり弁当（真竹） ▼福島テレビ賞 角田ツヤ子（浅岐） ヒロロ・モワダ丸型バッグ ▼福島中央テレビ賞 角田恵治（金山町） 揚ざる ▼福島放送賞 武藤勲太郎（喜多方市） そば盛（根曲がり竹） ▼テレビユー福島賞 板橋泰二郎（滝原） 山ブドウ皮手提げかご ▼奨励賞 安部たづえ（千葉県） くるみかご、小須田治祐（猪苗代町） 山ブドウ皮花結手提げかご、佐藤光一（金山町） 米揚げざる、大橋一哉（青森県） 手揚げうね編み（アケビ）、上村健三（新潟県） 山ブドウ皮手提げ兼背負いかご、西谷喬（大阪府） 卵型物入れ（ミツバアケビ）

社賞 遠藤正子（山形県）



全国編み組工芸品展・経済産業大臣賞
ヒロロ・モワダショルダーバッグ
齋藤美智子さん（福島市） ※飯館村



奥会津三島編み組振興協議会の五十嵐三美会長から経済産業大臣賞の賞状を受ける齋藤美智子さん



二瓶町長から大賞の賞状を受ける千葉アキ子さん

会津を描き続ける、西方出身の画家 小堀貞 水墨画展



磐梯山

5月3日(土) - 6月1日(日)

休館日= 5月7日(水)、8日(木)、
12日(月)、19日(月)、26日(月)

小堀貞実演会 5月17日(土) 午後1時30分から

開館時間▶午前9時から午後5時まで(最終入館午後4時30分)

入場料▶町民無料▶高校生以下無料▶町民外=大人300円、65歳以上150円

こぼり・ただし

1935年、三島町西方生まれ。福島大卒。中学校教諭、高校教諭として勤務しながら数々の作品を描く。1996年、会津高校教諭を最後に退職。公募ふるさと風景画展最優秀賞、モダンアート展優秀賞、青木繁記念大賞展特別賞など入賞多数。会津美術協会長。

三島町交流センター山びこ

福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 418

<http://www.yuruibata.jp/>

☎ 0241 (52) 2165

編集後記

▼新年度がスタートしました。春は、子どもから大人までが新たな気持ちで生活を始める季節です。この新鮮な気持ちを忘れずに過ごしていきたいものです▼今年度、町は大きな建設事業を実施します。一つは町営住宅。子育て世帯を対象とした戸建住宅を建設し、定住を促進します。もう一つは高齢者集合住宅。援護が必要な高齢者の方が、安心して暮らせる住宅とします▼新しい建物が建ち、新しい町の風景となり、人の輪が生まれ、笑い声が聞こえてくる。そんな住宅になることを願っています▼広報みしまは、引き続き地域政策課が担当します。広報は、町民と行政のつなぎ役。いつも皆さんの身近にあり、親しまれる広報紙でありたいと思います。

4 April 2014

広報みしま 4月号 (第253号)
平成26年4月4日発行 (毎月第1金曜日発行)

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 地域政策課
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5533
■ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
■印刷 北日本印刷株式会社